

第一号議案

2023 年度活動結果報告

総括的な活動結果

2023 年度は時間預託活動・奉仕活動共に計画を達成しました。ただ、3年にわたる自粛の日々で体調を崩された会員など、高齢化の進行と相俟って活動提供者の偏りと減少が懸念材料です。一方、10月に4年ぶりに「秋のイベント」を開催し、会場は165名の満席の盛況で、一体感を感じる活気のあるイベントでした。9月には「青色防犯パトロール」活動が、永年にわたる地域防犯への貢献により枚方警察署長から感謝状を拝受しました。

(1) 組織の活性化に繋がる活動会員の増強

- ① 時間預託活動・奉仕活動共に2023年度計画を達成し前年を上回る実績でしたが、活動提供者数は会員の高齢化・コロナ禍の余波などにより、コロナ前のパワーには及びませんでした。
- ② 「天の川クラブ」ホームページをタイムリーに更新し、トップに「新会員募集」を掲げ、ナルクのPRと新会員の獲得に努めました。当年度のHP訪問者は月平均約800名で前年と同等数をキープしました。
- ③ 「新会員交流会」はコロナ禍時の入会者も含め年度別に3回実施し、参加会員は即戦力として既に活動に加わっています。また「活動区分別交流会」は23回実施で、参加者290名（前年155名）と活動への強い意欲を示しました。
- ④ 2023年度新入会員32名。年度末会員658名。前年比21名の減少でした。

(2) 事業活動推進で安定的拠点運営

- ① 「生涯学習情報プラザ」（受託事業）は講座内容の充実と施設運営の向上を目指し計画に沿って実施しました。本年3月で3か年契約終了に伴い、新規契約更改の一般競争入札により、今後4年間の契約が実現しました。
- ② 「枚方市生活支援員養成研修」（受託事業）は、計画どおり6月と11月の2回開催しました。
- ③ 「生活援助訪問事業ナルクすこやか」（認可事業）は、利用者数・支援員活動者数ともに計画に沿った推移でした。引き続き支援員活動者の増員に努めます。

(3) 「楽しいナルク」「安心のナルク」「感動のナルク」

- ① 会員相互扶助活動は利用・提供の双方を円滑に推進すべく努め、「ひとり暮らし支援」は対象者にアンケートを実施。心の通う安心対応に努めました。
- ② 「地区会」は全ての活動の原点であり、2023年度18回実施（前年14回）、参加者延べ414名（前年313名）と活況を呈し内容も工夫が見られました。
- ③ 「秋のイベント」は上述のとおり活気に満ちた楽しい集いでした。

(4) 地域密着の貢献活動

環境美化活動「ナルクデー2023」は120名の参加。「クリーン&ウォーク」は64名の参加で、地域への貢献とともに、市民にナルクをアピールしました。

(5) 「北河内地区連絡協議会」は2回開催し、課題の共有と改善を図りました。

1. 時間預託活動

近藤秀子・角山正男・一宮順世

会員相互扶助活動は、会員が地域で安心して生活できるように取り組みましたが、各担当とも提供者の確保に苦労しています。

コロナ禍が明け、福祉施設での活動再開により実績が大巾に増加しました。その結果、時間預託活動は計画に対し実績は 106%となりました。

(1) 会員相互扶助活動

- ①家事・介助支援は低調でした。地区会をはじめ各地区独自で広がりを見せている交流会などは会員が声を上げやすい場と捉えていますが、新規利用者の増加には繋がりませんでした。継続を危ぶまれた活動で提供者・利用者として話し合い時間調整を試みた結果、活動を続けることが出来ました。

また、ひとり暮らし会員は全世帯の 34%に上ります。希望する会員に対して日常生活での支援、電話による安否確認など行ってきました。

今後の活動の充実のためアンケートを実施しました。このアンケート内容をも踏まえ、新年度の活動に向けて準備しています。

- ②庭・植木の手入れは、計画に対し実績は 75%となりました。

提供者の体調不良等により会員の利用に即応できず、利用要望を複数回に分けての対応とか秋と春の作業に分けて実施する等の工夫で理解を得ました。

庭の手入れにも女性のパワーがますます必要になってきました。

2023年夏は酷暑が続きました。熱中症には十分注意しました。

- ③ハウスヘルパーは、計画に対し実績は 91%となりました。

事務所持ち込みの「包丁研ぎ」の利用は堅調に推移しました。

提供者が体調不良となり提供範囲が若干制限されました。

- ④送迎は、計画に対し実績は 98%となりました。前年対比では 105%です。

新規の利用者は少なく、リピーターの利用が過半数を占めています。

新たな提供者が 1 名加入してくれました。

- ⑤パソコン指導は、計画に対し実績は 111%となりました。利用者と提供者が固定化し新規利用者が少ない現状にあります。

今年度の特徴は、基本ソフトの更新サポートの利用が多かったことです。

コスト面で喜ばれています。又個人指導の勉強会形式のサポートが好評でした。

(2) 福祉施設活動

福祉施設活動は、活動を通じて会員自身の生きがいにもつながる大切な活動と捉えて実施しています。

今年度はコロナが 5 類への移行により、施設の活動が活発化しました。

「エイジフリー・ライフ香里園」は、お茶会でのスタッフの着付けの他、入居者と交流する書道・お花・絵手紙の活動が順調に進みました。そして、物作りでの制作活動の準備も進んでいます。

「エイジフリー・ライフ星が丘」は、コロナ前には主な活動であったリビングでの活動（配膳・下膳）は無くなり、書道・絵手紙・作品制作・ウクレレ・

むかし遊び・囲碁と教室活動が始まりました。以前からの屋上菜園での野菜作り、そして話し相手も再開し8分野に活動が広がり、当初目標を大きく超える事が出来ました。

活動メンバーも50人とそれぞれが自分の力を発揮し入居者の方に寄り添う活動に「楽しかった」との声に会員自身も元気をもらっています。

「デイサービスえみふる」は施設の事情で活動中止となりました。

2. 奉仕活動

辻 洋子・一宮順世

奉仕活動は、ボランティア活動の基本であり、地域社会への貢献という大切な任務を担っています。内部外部活動を含めトータルで計画比 105%となりました。

(1) 福祉施設支援活動

各福祉施設での活動は、施設利用者との交流を通して、高齢者や障がいを持った方への理解を深め、地域社会に貢献すると共に、会員自身の生きがいを見つける有意義な活動として実施しています。

今年度は、各施設とも対面での交流が開始されました。「サンポエム」では、喫茶の提供活動やレクレーションの手伝いを担当し、「エバーライフ御殿山」は、入居者向けに水切り絵作品を殆ど仕上げた状態にして楽しんでもらいました。

「エイジフリー・ライフ星が丘」や「その他の施設」では、夏祭りに盆踊り同好会が多数参加し、マジックやオカリナ同好会が施設訪問をしました。

「ひらかた聖徳園」は、施設の事情で活動が中止となりました。

(2) 子育て支援活動

「子ども安全見守り隊」は、活動者が少なく目標が達成出来ませんでした。活動の意義が理解されている割には、活動者の少ないのが現状です。

子育て関連施設では「ファミリーポート」の花壇チームは、草刈り・園庭・菜園管理の活動を継続し、今期計画に対し 120%達成できました。子育てチームは夏以降園児の減少に伴い施設のスタッフのみでの対応となり、支援活動は 12 月で中止となりました。

(3) 環境美化活動

環境美化活動は、元気で仲良く健康的に清掃活動に取り組んでいます。活動会員の高齢化に伴い活動人数の減少が大きく目立ち始めています。

「ナルクデー2023」を 4 月 22 日 3 会場（枚方・楠葉・香里）で 総勢 120 名の参加で実施しました。枚方会場には伏見枚方市長、ナルク本部故神野前会長が激励に来られ盛大に行われました。

4 年ぶりに実施された「天野川クリーン&ウオーク」に過去最高 64 名参加。

(4) その他外部活動

①長年活動を継続している「赤い羽根街頭募金」活動には 9 名参加しました。

- ②「青色防犯パトロール」は、９月に枚方警察より地域防犯活動協力で表彰を受けました。提供者の不足が課題です。

3. 事業活動

佐野友保・近藤秀子・和田亮吉

(1) 事業 A：当拠点が対応できる案件はありませんでした。

(2) 事業 B：生涯学習情報プラザ（受託事業）

文化生涯学習課と緊密な連携により、下記の内容を主体に取り組みました。

- ① コロナ対策は、施設利用後の消毒・清掃を都度丁寧に実施し施設からの感染を出すことなく遂行できました。施設利用件数 775 件（前年度 581 件）で 33% 向上しました。
- ② ミニ体験講座内容の向上策では、スタッフ全員のスキルアップで丁寧な説明と講座を実施し、受講率向上を図り、受講者の増加を図ることが出来ました。ミニ体験講座受講者 2,009 名（前年度 1,741 名）15% 増加になりました。
- ③ 2024 年度より枚方市と 4 年間の受託契約を締結することが出来ました。新体制で取り組むためスタッフの増員を図り、導入に向けた研修を推進しスタッフ全員の協力で新年度に向け決意を新たに推進中です。

(3) 事業 C：枚方市生活支援員養成研修（受託事業）

2023 年度は、6 月、11 月、2 回実施し受講者 18 名でした。

受講者数が少ない分、講師とのコミュニケーションの時間が増えるという利点もありました。実施会場のロビーの書架に募集チラシを長期間置かせていただいたが受講者増にはつながりませんでした。

(4) 事業 D：生活援助訪問事業「ナルクすこやか」（認可事業）

生活援助訪問事業は、本年 3 月末で 6 年間の認可が終了したため新たに申請を行い、再認可（6 年間）を受け初年度の活動を開始し、要支援者月平均 57 名の方々の支援を行いました。

支援活動については、コロナが 5 類に移行されましたが、引き続き感染予防に留意し活動を行いました。また地域包括支援センターからの支援要望に対し、活動できる支援員が不足のため、十分に対応することが出来ませんでした。

4. 同好会活動

向井範雄

同好会活動は、新型コロナウイルスが 2 類から 5 類になり、3,061 名が参加され計画 3,000 名を達成しました。今年度はオー・ジーンズと水切り絵が解散しました。

5. 会員活動促進

向井範雄・西川昌子

会員相互の連携と親睦を深める活動を目指しました。又一般市民への呼びかけなど前年より活発化しつつあり将来に繋がる活動を推進することが出来ました。

(1) 地区会

- ① コロナの感染分類が 2 類から 5 類へ移行により地区会実施が多くなりました。

年間18回開催され414名の参加。(前年は14回開催で313名)

各地区で年2回開催を目指したが一部未達は反省事項です。

- ②新しい取り組み傾向として、地区会や地区サロンについて従来にない発想や企画で参加人員を増加している地区もあり、今後とも継続をしていきます。

(地区内で希望アンケート実施や包丁研ぎ等の提供活動を受ける取り組み等)

(2) 会員研修

会員研修は、次の研修を実施しました。

- ①「健康リズム体操」：実施日：7月4日(火) 参加人員61名(一般6名含む)

歌声と体操の一体感で健康づくりに大変有意義で喜ばれました。

- ②「車椅子体験講習会」：10月11日(水) 受講者17名

- ③コーディネーター養成講座

実施日：1月22日(月) 受講者31名(4拠点合同実施)

(枚方拠点19名、交野拠点6名、寝屋川拠点4名、大阪拠点2名)

(3) イベント

- ①第29回定時総会：6月2日(木) 185名参加

- ②オータムフェスタ2023 10月18日(水) 165名

- ③サプリ村野NPOフェスタに「ハンドマッサージ」と「夜店遊び」が参加

(4) 活動区分別交流会

コロナ感染の減少による各分野の活動活発化に伴い、課題の共有化、提供の情報交換が必要になり交流会実施が多くなりました。年間で23回(290名)と前年を大きく上回る結果となりました。(前年は14回で参加者155名)

6. 事務局活動

岡本年昭

- ①事務局担当の絶対人員が少ない中、一部の方に巾広く担当いただくなど取り組み、当番を始め、実績入力やその関連業務、会報手配り準備等停滞することなく、事務局業務全般について適切で信頼されるよう対応しました。

- ②活動実績入力は、専門知識が必要な中、適時適切な人員対応でスムーズに対応することが出来ました。

- ③事務局要員の補充に努めました。(事務所当番1名の補充)

7. 広報・渉外

向井範雄

- ①会報「天の川」について、年間を通じて必要な情報をタイムリーに掲載し、広報紙として会員全員に伝わる紙面づくりに努めました。

- ②毎月、ナルク本部会報と会報「天の川」を公共施設28カ所に配布、ひらか市民活動支援センター発行の「ひらせんナビ」にナルク記事を掲載してPRに努め、新規会員獲得に努めました。

- ③ホームページの内容を常に見やすくタイムリーな更新、役立つ情報の掲載等、ナルクのイメージ向上に取り組みました。